

TOPICS  
2

## トピックス…②

平成27年度農林水産予算  
概算要求

農林水産省は8月29日、平成27年度農林水産予算の概算要求を発表した。総額は、26年度当初予算額（23,267億円）に比べて14.1%増の26,541億円である。同省では、「農林水産業・地域の活力創造プランに基づき、農林水産業を成長産業化して、農業・農村の所得倍増を目指すとともに、美しく伝統ある農山漁村の継承と食料自給率・自給力の維持向上に向けた施策を展開する」と、概算要求のポイントを説明している。

畜産・酪農関連事業については、離農による生産基盤の弱体化など重要課題に対応し競争力を強化するために536億円（うち337億円は新規事業）を増額し、要求総額2,359億円で次のような諸施策を展開する。

## (1) 畜産・酪農の成長産業化

畜産農家と畜産関係者（コントラクター、飼料メーカー、実需者等）の結集による地域全体での収益性向上のための取組（畜産クラスターの構築）を支援する「高収益型畜産体制構築事業」に5億円（平成26年度当初予算額1億円）を計上。

畜産農家の収益性向上に必要な機械のリース整備、畜産クラスター計画等に位置づけられた地域の中心的な畜産経営体が行う施設整備を支援する「畜産収益力強化対策」（新規）に160億円を計上。

堆肥の広域的利用の推進や、悪臭問題等に対応するための機器・設備の整備、農場移転等に必要畜産環境施設等の整備を支援する「地域畜産環境総合対策」（新規）に61億円を計上。

## (2) 畜産・酪農の生産力強化

和牛の生産拡大と生乳供給力の向上に資する和牛受精卵移植・性別別精液の活用や関係機器の整備、肉用牛の繁殖向上のための新たな取組（発情発見装置の導入等）を支援する「畜産・酪農生産力強化緊急対策事業」（新規）に30億円を計上。

受胎率の向上に向け、性別別精液の評価精度の向上や繁殖機能の改善等の研究開発を推進する「和牛の生産拡大を支える研究開発」（新規）に3億円を計上。

## (3) 自給飼料の生産拡大

難防除雑草の駆除等による草地改良、濃厚飼料原料（イアコーン等）の増産、飼料生産組織（コントラクター等）の育成、肉用繁殖牛等の放牧の推進、エコフィードの増産等を支援する「飼料増産総合対策事業」に37億円（同14億円）を計上。うち「難防除雑草駆除緊急対策」（新規）に20億円を計上。

環境負荷軽減の取組に加え、新たに畑地における飼料の二期作・二毛作、放牧の推進など酪農経営における飼料生産拡大を支援する「飼料生産型酪農経営支援事業」に79億円（同

62億円）を計上。

飼料用米の円滑な生産等を推進するため、その利用・保管に係る機械等のリース導入を支援する「飼料用米の利用拡大に向けた畜産機械リース事業」（新規）に59億円を計上。

飼料用米を活用した配合飼料の供給・利用の促進等のための飼料供給体制の整備を支援する「配合飼料供給体制整備促進事業」（新規）に4億円を計上。

離農農家の草地の円滑な継承を図るため、草地改良と併せて行う離農施設の撤去をメニュー化するとともに、牧柵の除去等の簡易な基盤整備を推進する「草地畜産基盤整備事業」に70億円（同36億円）を計上。

イアコーンなど新たな自給飼料の給餌と放牧を組み合わせた牛肉生産技術体系の確立に向けた研究開発を推進する「自給飼料の生産拡大を支える研究開発」（新規）に4億円を計上。

## (4) 国産畜産物の需要拡大のための技術開発

畜産物分野における国産シェアの拡大に向け、国産畜産物の加工原料への利用を促進するための技術開発等を支援する「国産畜産物の新たな市場獲得のための技術開発促進事業」（新規）に16億円を計上。

## (5) 畜産・酪農経営安定対策の実施

畜種ごとの特性に応じて畜産・酪農経営の安定（配合飼料価格高騰時への対応を含む）を支援し、意欲ある生産者が経営の継続・発展に取り組める環境を整備する「畜産・酪農経営安定対策」に1,831億円（同1,710億円）を計上。

平成27年度農林水産予算概算要求（畜産・酪農関連）

単位：億円

施策	平成27年度概算要求		平成26年度	増減額
		(うち新規)	当初予算	
畜産・酪農の成長産業化	226	( 221 )	1	225
畜産・酪農の生産力強化	33	( 33 )	0	33
自給飼料の生産拡大	253	( 67 )	112	141
国産畜産物の需要拡大のための技術開発	16	( 16 )	0	16
畜産・酪農経営安定対策の実施	1,831	( 0 )	1,710	121
計	2,359	( 337 )	1,823	536